

YOKO WENDE

ヴェンデ・ヨウコ
(ヴォーカリスト)



幼少よりクラシックピアノ、10代よりダンスを習う。16歳でカリフォルニアの高校へ留学。演劇のクラスを通し、舞台により興味をもち始める。

青山学院大学・国際政治経済学部在学中、キャスティングディレクター・演出家として名高い奈良橋陽子氏率いるミュージカルに出演。その後、奈良橋氏主宰のUPSアカデミーにてメソッド演技法とマイズナーテクニックを学ぶ。

大学卒業後、演技の道を志し、ロータリー財団奨学生としてニューヨークの演劇名門校The Lee Strasberg Theatre Instituteへ留学。メソッド演技法を含むパフォーミング・アーツを広く学ぶ。声楽とダンスの本格的なトレーニングも始める。4年に渡るニューヨーク滞在中、演劇・ミュージカル・ダンスにてカーネギーホールやLa MaMa Theatreなどの著名な舞台に幅広く出演。

2009年よりベースを香港に移し、音楽を通しての表現にフォーカス。主要なコンサートホール、ジャズクラブ、ジャズフェスティバルにてヴォーカリストとして活躍。Time Out誌に「一流のジャズシンガー」と評される。

2017年よりヨーロッパのジャズフェスティバルなどへ活動の場を広げる。国境をまたいで、ジャズ、ボサノバ、日本の曲を歌う中、より自分のルーツを探りたいという想いから、初アルバム「The Path of the Wind」を収録。久石譲氏や坂本龍一氏を含む日本人作曲家の美しい作品を、クラシックギターとヴォーカルデュオで独自にアレンジ。プレミアコンサートはフランスのジャズフェスティバル「Au Gès du Jazz 2018」の公式コンサートとして行われ、「今年一番のお気に入り」、「フランスの庭を禅の庭にした」と新聞紙や主催者から高い評価を得る。

2019年よりベースを東京へ移し、よりアイデンティティと創造性を深めた作品づくりと演奏を目指す。初アルバム「The Path of the Wind」では、坂本龍一氏や久石譲氏などの日本人作曲家による作品をクラシックギターとヴォーカルデュオへ独自にアレンジ。2023年、1989年から毎年開催される飯高檀林コンサートに招かれる。国宝となる飯高寺の舞台にて、1100人の観客と共に歌い、手を叩き、涙する。

現在アムステルダム在住。2025年には、ハーグの国際刑事裁判所で大使や判事たちの前で歌を披露。またオランダで最も視聴されているトーク番組「Eva」にも出演。島唄や日本の曲を現代風にアレンジした創作に挑戦中。

[Watch & Listen](#)

info@yokowende.com

www.yokowende.com